



PHILIP MORRIS JAPAN

Corporate Overview





煙のない社会を、ここ日本で

フィリップ モリス ジャパンのビジョン

私たちのビジョンは、紙巻たばこ全てを煙の出ない製品に切替えていくことです。紙巻たばこの喫煙者の多くが喫煙の満足感を得られる害の少ない製品を求めています。そこで、私たちは喫煙を続ける人々に新たな選択肢を提供していきたいと考えています。そして、社会が私たちに期待することは、たばこの煙のない社会の実現です。

当社では、社員一丸となって、煙を出さずに楽しむことができる革新的な製品を開発してきました。

すでに世界中で300万人以上の方々に紙巻たばこから、この革新的な製品に切替えて頂いています。

当社が想い描く将来を象徴する製品を育てていくために、今後も私たちは研究開発に投資していきます。

時代が大きく変化していく中、私たちは流れに身をゆだねるのではなく、私たちは、会社の新しい方向性を打ち出し、大きな一歩を踏み出しました。紙巻たばこビジネスの成功を糧に、この大胆なビジョンを追求してまいります。

About

Philip Morris Japan

フィリップ モリス ジャパンについて

フィリップ モリス ジャパンは、米国を除く世界各国でたばこ事業を展開する世界屈指のたばこ会社であるフィリップ モリス インターナショナルの日本法人です。加熱式たばこ「IQOS(アイコス)」をはじめ、マールボロ、ラーク、パーラメント、バージニア・エスといった、フィリップ モリス社製品のマーケティングおよび販売促進活動を行っています。

当社は1985年に日本で事業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日では全国に約1,950名の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約27.1%のシェア(2016年度)を有する日本第2位のたばこ会社となっています。当社は「煙のない(スモークフリー)社会を、ここ日本で」の実現をビジョンとして掲げ、変革を推進しています。

※使用されている画像は、一部に組織変更(2016年10月1日)前の弊社商号またはロゴが含まれています。

Message from the President

Philip Morris Japan

フィリップ モリス ジャパン代表からのメッセージ

フィリップ モリス ジャパンに興味を持っていただき、ありがとうございます。
当社は日本市場で30年以上の歴史を持つ国内最大の外資系たばこ会社です。
会社案内を手にとっていただいたこの機会に、当社のビジネスとその目的についてご説明したいと思います。

第一に、マーケットシェアの拡大に引き続き注力いたします。世界第1位を誇るマールボロをはじめ、多くのグローバルなトップブランドを有するブランド・ポートフォリオによって、成人喫煙者のニーズに対応した革新的な新製品を投入していく計画です。また、フィリップ モリスの歴史に新たなページを加える、当社初の「リスクを低減する可能性のある製品(RRP)※」IQOSを発売しました。当社の強力なブランド・ポートフォリオとイノベーション・スピリットは、変化する成人喫煙者の嗜好を捉えており、他社よりも市場での優位性が高いと考えています。

第二に、当社は、最高の製品とサービスを提供する信頼性の高いたばこ会社であり、たばこに関する問題について、事実に基づく重要な情報を提供しています。ステークホルダーの皆さまや政策決定機関との対話のパートナーとして、尊重され信頼される存在であり続けます。非喫煙者および成人喫煙者、さらに公衆衛生からのニーズに配慮した中立的・合理的な規制環境を構築するため、情報と積極的な対話が重要な手段であると考えています。また、市場での公正な競争を可能にするために、価格決定の自由を引き続き追求します。

第三に、優秀な人材から選ばれる企業として、国内で認知されるよう努めます。当社は人材を最も重要な資源と考えており、従業員の持つ知識とスキルを有効に活用するため、人材の多様化を進め、受け入れ体制の強化を図っています。さらに、従業員が新たな課題に取り組みつつ能力開発を進めることができ、公正・公平な評価とキャリア開発設計が保証される労働環境の構築を目指します。

第四に、日本社会への利益還元が重要であると考えています。当社は、東日本大震災後の復興支援を継続し、被災地のニーズの変化に応じた支援プログラムを引き続き提供するほか、ドメスティック・バイオレンスや子ども虐待、環境問題に焦点を当てた取り組みも引き続き積極的に進めます。

当社は、極めて強固な成長基盤を有し、持続的な成長に向けた堅実な戦略と取り組みを推進しており、また非常に数多くの有能かつ情熱ある従業員に恵まれています。当社は日本市場で長年にわたり成功を収めることができましたが、それが今後も続いていくと私は確信しています。

※ RRP(リスクを低減する可能性のある製品)は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、又は少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPが存在します。私たちのRRPはたばこ葉を燃やさないで、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害性成分ははるかに少なくなっています。




フィリップ モリス ジャパン合同会社 社長
シェリー・ゴー



フィリップ モリス ジャパンの業務活動

日本の成人喫煙者は、常に製品に革新性を求める一方で、高品質な製品への志向が強く、顧客サービスについても高い水準が期待されています。フィリップ モリス ジャパンでは、関係業者と協力し、製造から成人喫煙者の手元に製品が渡るまでのすべてのプロセスにおいて最高水準の品質が保たれるよう徹底を図っています。

製品の開発と製造

日本で販売されているフィリップ モリス社のたばこ製品は、すべて海外のフィリップ モリス インターナショナル(PMI)の工場で作製され、輸入されています。

当社では、日本の成人喫煙者の嗜好に合うように、日本の市場で販売するたばこ製品の企画・開発をPMIと協力して行っています。

輸入と在庫管理

すべてのたばこ製品の品質水準が保たれ、輸入や在庫管理などが適切に行われ、また、たばこ製品が適切に市場に供給されるよう、関係会社と協力を図っています。

販売店へのサポートとマーケティング活動

フィリップ モリス社製品を取り扱っているたばこ販売店には、コンビニエンスストアをはじめ、一般のたばこ小売店、スーパーマーケット、駅の売店などがあります。

当社は、それぞれのたばこ販売店の事業活動に合ったより良い販売環境づくりをサポートし、ビジネス関係のさらなる強化に努めています。全国のたばこ販売店の継続的な繁栄を目指し、地域の販売動向、成人喫煙者の購買傾向や店舗の特徴を踏まえ、立地に合った販売戦略を提案するなど、さまざまな支援サービスを提供しています。また、銘柄を選びやすい商品の陳列方法を提案し、成人喫煙者がたばこ製品を求めやすい店づくりも支援しています。

たばこ販売店や喫煙所など成人喫煙者が集まる場所では、当社の従業員が直接成人喫煙者にフィリップ モリス社製品のマーケティング活動を行っています。

社会からの声に応えるため

成人喫煙者やたばこ販売店、社会からのさまざまなお問い合わせ・ご指摘に迅速に対応するべくコールセンターを設置し、より信頼される企業となるため、また最高水準の品質が保たれるよう、社内の体制を整えています。



代表的な製品

IQOS®

レギュラー



レギュラー



バランスド レギュラー



スムーズ レギュラー

メンソール



メンソール



ミント



パープル メンソール



ホルダー & チャージャー (ネイビー)



ホルダー & チャージャー (ホワイト)



ホルダー (ホワイト&ネイビー)

Marlboro



マールボロ・ボックス

LARK



ラーク・マイルド KSボックス

PARLIAMENT



パーラメント100 ボックス

VIRGINIA S.



バーヂニア・エス・ソフィア 6

Our Activities Responsibly Address Tobacco-Related Issues



喫煙が健康に与える健康上のリスクについて

喫煙は、心血管疾患（心臓病）、肺がん、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫や慢性気管支炎）など、数多くの深刻な疾病を引き起こします。成人喫煙者がこれらの疾病のいずれかにかかる可能性は、非喫煙者に比べてはるかに高くなります。また、喫煙には依存性があり、やめることは極めて困難場合があります。これが、世界中の主要な医療機関および科学機関の見解です。また、これらはフィリップ

モリス ジャパンの見解でもあります。

喫煙による深刻かつ有害な健康への影響について正確な情報を成人喫煙者を含む一般消費者に提供することは、たばこ規制の基本的な目的であり、政府のたばこ政策の中核となるべき要素です。

当社は、喫煙による健康上のリスクについて積極的に情報提供を行っています。

公共の場所における喫煙規制

神奈川県や兵庫県の受動喫煙防止条例に見られるように、近年、公共施設での喫煙を規制する動きが見られます。当社は、公共の場所で喫煙を規制することは適切な措置であると考えます。例えば、官公庁、医療機関など人々が行かなければならない場所や、学校や託児所など子どものための施設では、禁煙を含めた規制が適切です。一方、レストラン、カフェ、バー、クラブ、その他の娯楽施設などでは、喫煙可とするか、制限あるいは禁止するのかを決める際、事業主の裁量が認められるべきだと考えます。

当社は、公共の場所での喫煙規制については、非喫煙者や未成年者を環境中たばこ煙から守るとともに、成人喫煙者が一部の公共の場所では喫煙できるよう、バランスの取れたものになるようにすべきだと考えます。



フィリップ モリス ジャパン本社が入るビル1階の公共喫煙所（山王パークタワー）

責任あるマーケティング

フィリップ モリス ジャパンでは、成人喫煙者のみにフィリップ モリス社製品を選択してもらうことを目的としてマーケティング活動を行っており、当社のマーケティング活動が未成年者を対象とする

ことはありません。当社では、たばこのマーケティングに関連する法律・省令、日本たばこ協会の自主基準に加え、より厳しいフィリップ モリス インターナショナル(PMI) 独自のマーケティングポリ

シーを自主的に設定・遵守しています。これは、当社を含むPMIの子会社すべてに適用される基準であり、世界中でPMIがビジネスを展開するにあたり、明確かつ一貫した基準となるものです。

燃焼を伴うたばこ製品のマーケティングとセールスの実務指針

5つの基本原則

- 私たちは燃焼を伴うたばこ製品を成人喫煙者に対して販売する。
- 私たちは消費者に対し、燃焼を伴うたばこ製品の健康影響に関して警告する。
- マーケティング活動は正直に、正確に、透明性がなければならない。
- 私たちは法律と私たちの高い基準を尊重しなければならない。
- 成長を推し進める一方、健全な正しい決断と常識はPMIの価値と評判を維持する鍵となる。

PMIのマーケティング ポリシーの例

- 当社のマーケティングおよび販売マテリアルに、未成年者に訴求する画像(漫画や若者に人気のある有名人、25歳未満のモデルを使用した画像など)を使用することはできない。
- 当社は、主に未成年者を対象としたメディア・チャネル(雑誌、インターネット・サイト、映画の予告編、放送を含む)において広告を行ってはならない。
- 当社は、映画、テレビの娯楽番組、劇場作品、または不特定多数向けのその他の作品(ビデオゲーム等)においても、たばこ製品、広告、またはたばこのブランド名を付した物品の使用のために、金銭の支払いや寄付を行ってはならない。

未成年者喫煙防止に関して

当社は、未成年者の喫煙を深刻な社会問題であると考えています。未成年者の喫煙の要因はさまざまであり、規制当局、学校、保護者など、社会全体でこの問題の解決策を探り、取り組んでいかなければなりません。

当社は、未成年者に対するマーケティング活動を一切行いません。当社のマーケティング活動では成人喫煙者にのみ訴求しており、証明書による年齢確認を徹底するため、マーケティング活動に従事する者すべてに研修の受講を義務付けています。さらに、当社はコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどを含むたばこ販売店に対しても同様に証明書の提示を求めて年齢確認を行うことを推奨しており、そのためのサポートツール(年齢確認のケーススタディ動画、カウンター用サイン、ステッカーなど)を提供しています。



<http://www.stop-under20.com/>



PMIサイエンスの
研究開発チーム
(スイス、ヌーシャテル)

Our Activities Research and Development for RRP

「リスクを低減する可能性のある製品(RRP)※」に関する研究開発

フィリップ モリス インターナショナル(PMI)の研究開発部門の本部は、スイス西部のヌーシャテル湖畔にあります。ここでは現在、400名を超える専門科学者と技術スタッフが「リスクを低減する可能性のある製品(RRP)※」の開発と評価に従事しています。PMIには、シンガポールにも研究開発センターがあります。

研究開発施設では、最新鋭の設備で、RRPの開発と評価を行うために必要な最先端の科学アプローチを実行できるようになっています。PMIの研究者は、生物、化学、

物理、電子工学、コンピュータープログラム、数学、統計などの幅広い科学的・工学的専門分野に精通しています。

PMIScience.comには、たばこハーム・リダクション(広く公衆衛生の観点から見た社会全体の健康への悪影響(害)を低減すること)を目的とする当社の統合的アプローチが結集されており、2010年以降に発行された200近い査読付き論文および数百の報告書、ポスター、発表内容が一般に公開されています。

IQOS



PMIは2014年11月、PMI初となる加熱式RRP※「IQOS」(アイコス)を、世界に先駆けて名古屋とミラノで発売しました。その後、日本では2015年9月に全国展開を開始し、現在、全都道府県において専用たばこ「マルボロ ヒートスティック™」とあわせて販売しています。

電子たばこ、加熱式たばこ、その他たばこの代替となる製品は消費財における新しい分野であり、PMIはこの分野で先導的なポジションにいと確信しています。多くの専門領域にわたる最先端の製品開発力と、業界最高レベルの科学的実証を通して、成人喫煙者のさまざまな嗜好と厳格な規制要件をともに満たすRRPポートフォリオの構築を目指しています。

たばこ葉を燃やさずに加熱して味わう「IQOS」の特徴は、電子ホルダーの使用です。加熱専用たばこのヒートスティック™は、PMIが独自の技術と製造工程を開発したものです。PMIは10年以上前からRRPの開発を行ってきましたが、今回の発売は、その長い道のりの中の重要な一歩となりました。

たばこハーム・リダクション

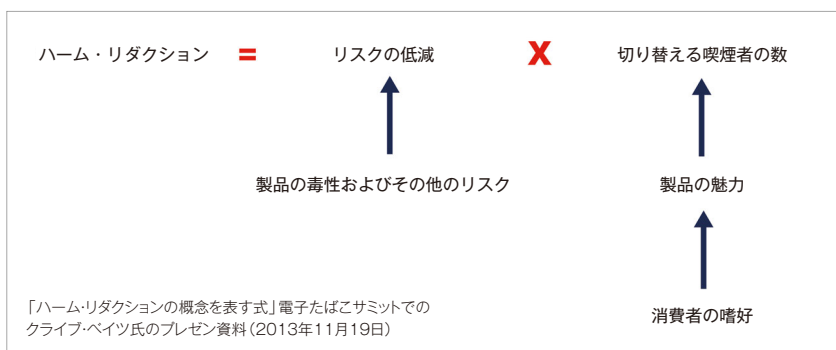
ハーム・リダクションとは、害を及ぼす行為そのものを阻止するのではなく、そうした行為によって引き起こされる害の低減を目的とした考え方です。長年にわたり、ハーム・リダクションは多くの公衆衛生政策を支える基本となっています。

成人喫煙者に対し、喫煙よりリスクの低い新たな選択肢を提供することは、「たばこハーム・リダクション」の基本的な取り組みです。ほかに選択肢がなければ、成人喫煙者は紙巻たばこを吸い続けるでしょう。スウェーデンで人気の高い無煙たばこ製品「スヌース」から、電子たばこやその他の革新的な製品に至るまで、リスク低減の可能性のある、紙巻たばこの代替品は、喫煙開始の予防と禁煙促進に焦点を当てた政策を補う重要な公衆衛生ツールとして徐々に認知されつつありま

す。支持者によると、「たばこハーム・リダクション」は喫煙開始の予防や禁煙を妨げるものではなく、補完するべきものです。

RRPに関するPMIの目標は、成人喫煙者にご満足いただける、有害および有害性成分を低減または除去した製品を開発することです。たばこ葉や紙巻たばこに使用されているその他の材料を燃焼させると何千もの化学物質が

発生し、その中の約100の化学物質が喫煙による疾患の主な原因になるとされています。そのためPMIでは、燃焼をなくすことこそ喫煙関連疾患にかかるリスクの低減につながる最も有望な手段であると考えています。また、成人喫煙者のさまざまな嗜好に合うように、革新的で多様な製品を用意することが重要であると考えています。



製品タイプ

PMIでは現在、4つの製品タイプの研究開発に取り組んでいます。そのうちの2つはたばこ葉を燃焼させるのではなく加熱するもので、あとの2つはたばこ葉を使用しないものです。これらの製品は開発と評価のさまざまな段階にあり、PMIのRRPプラットフォームはリスクを低減しつつ、成人喫煙者にとって製品が受容しやすくかつ魅力的なものであることを目標に開発が進められています。PMIは、燃焼を伴う紙巻たばこの喫煙と比べて、これらのRRP製品にリスクを低減させる可能性があることを実証するため、広範囲で厳格な科学研究を続けています。これまでに実施してきた数々の研究結果はとても心強いものですが、研究は現在も継続中であり、関連する臨床試験を含む科学的評価の最終結果を待たずして、リスク低減を断言することはできません。

また、PMIはRRPプラットフォームに関連する承認済み特許を世界で約1,900件以上保有しており、申請中の特許出願は4,100件を超えます (PMIの研究開発の取り組みの詳細はPMIScience.comをご参照ください)。

	Platform 1	Platform 2
加熱式たばこ (heat-not-burn)		
	Platform 3	Platform 4
eペーパー (e-Vapor)		

このチャートの内容は説明を目的としており、科学的なデータに基づいたものではありません。ここで表示されているRRP製品は継続的に開発が進められている製品であり、一つの例を示したものです。このチャートは、最新の製品開発を意味する、または示すものではありません。



「IQOSストア銀座」を2017年3月にオープン

※ RRP (リスクを低減する可能性のある製品) は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、又は少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPが存在します。私たちのRRPはたばこ葉を燃やさないで、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害性成分ははるかに少なくなっています。

Our Activities Credibility and Responsibility & Working Environment



コンプライアンス

成功への指針 (PMI職務倫理規定)



PMIでは、「成功への指針」と呼ばれる世界共通の職務倫理規定があります。このような名称となっているのは、ビジネスの持続的な成長を実現させるためにコンプライアンスが必要不可欠であると考えているからです。私たちは、法令の遵守にとどまらず、厳格な社内ルールを自らに課し、社会からの要請にしっかりと応えて事業を行い、業界をリードする——これは、私たちの変わらない基本姿勢です。私たちが、すべての行動に対して説明責任を果たし、誠実に、正直にビジネスを遂行することが、あらゆるステークホルダーからの信頼を深めることにつながり、持続可能な成長をもたらすと考えています。当社も、PMIの重要な子会社として、日本社会においても信頼され責任ある会社であり続けるよう、長期的な視野に立った事業活動を行っています。

ヒューマンリソース

エンployヤーブランド

UNLIMIT YOURSELF @ PMI

当社は、従業員とそのキャリアに積極的に投資しており、従業員が新たな挑戦をし、学び、そして未来を切り開くための必要なスキルを身に付ける機会を提供しています。当社では、誰もがさまざまな形で、自らの世界を広げていくことができます。私たちは、従業員が各々比類ない意見や考えを持ち、経験の積み重ねがその考えをより深いものにしていくと信じています。さらに未来は、訪れることを待つのではなく、自らの手でつくっていくものだと考えています。従業員が当社において働く、その期間が1年であっても10年であっても、自ら望むキャリアを切り開くために必要なスキルを身に付けることができます。それこそが、私たちのエンployヤーブランドである“UNLIMIT YOURSELF @ PMI”の意味するところです。

価値あるインターンシップ機会の提供



当社は、2014年からグローバル共通のインターンシッププログラムであるINKOMPASSを実施しています。INKOMPASSは、春と夏の2回のインターンシップで構成され、職場での就業体験と学習を通じて、新たな自分を発見することをテーマとしています。これは、学生の皆さんにかけがえのない経験を提供したいという私たちの熱意の表れであり、国際的な活躍を目指す学生から高い評価を得ています。プログラムに参加する学生は、グローバルなビジネス環境の中で、自らの強みや改善点を発見し、プロジェクトで課題を乗り越える中でビジネススキルを磨き、他の参加者やPMで働く従業員と国境を超えたネットワークを築くなど、個人として成長することができます。

人材育成の取り組み

当社は「人財」を経営戦略の重要な柱と位置付けており、ベストな人材の獲得と、その育成に情熱を注いでいます。グローバルで先進的なトレーニングプログラムや、部門や国の垣根を越えたプロジェクトに参加する機会など、幅広い能力開発の機会を提供しています。また、グローバル共通の評価プログラムを通して、実力主義で公平なキャリア形成を実現しています。優秀な人材の確保と育成のためのタレントマネジメントには特に力を入れており、ポテンシャルに着眼したタレントの早期発掘、ならびに海外への赴任などを通じた積極的な育成を行っています。私たちは、こうした「人財」への投資こそが、従業員のポテンシャルを開花し、エンゲージメントを高め、革新的で高品質な製品や、サービスを顧客に提供することにつながると考えています。

ダイバーシティの尊重



多様な視点や考え方は、ビジネスパフォーマンスの向上において重要であり、積極的に意見を述べることを従業員に推奨するほか、ジェンダーバランス、カルチャー、ジェネレーションの3つにフォーカスしてダイバーシティを推進しています。人種・肌の色・宗教・性別・国籍・年齢・性的指向・障がいの有無などの個人の属性にとらわれることなく、採用や異動、能力開発において、公正な機会を提供しています。また、多様性豊富な従業員が個人の能力を最大限に発揮できるよう、職場環境の充実と維持に取り組んでいます。こうした取り組みを通じて、本社部門における女性比率は40%に届こうとし、管理職女性比率は24%に達しました。22カ国の従業員が活躍し、また障がい者採用において法定雇用率を達成しています。さらに、当社は“EQUAL-SALARY”による認証を取得しました。“EQUAL-SALARY”は、スイス連邦および欧州委員会に認定を受けている非営利組織であり、企業が、報酬に関わる原則を男女を問わず平等に適用していることを確認し、認証を付与しています。



ワークライフバランスの向上

当社は、従業員がそれぞれ異なるライフステージにおいて、仕事と私生活のバランスを無理なく取る制度を整え、その利用促進を図っています。育児や介護をする従業員の支援制度や、余暇を充実させる福利厚生サービス、そして従業員が退職後も安心して生活できるよう充実した年金制度を提供しています。従業員の生活の充実が仕事にも良い影響をもたらすと考え、従業員がいきいきと活躍できる職場づくりを目指して、今後もさまざまな取り組みを推進していきます。





Our Activities PMJ Contribution Programs

社会とともに

当社の従業員が住み、そして働く地域社会で、常に責任ある企業市民として、違いを生み出していく——それが私たちの活動の原点です。フィリップ モリス ジャパンは、今日の日本社会が抱える社会問題の解決を目指し、これらの課題に取り組む組織や団体と連携して、問題の啓発活動や実際に必要とされている支援を積極的に行うなど、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

従業員とともに

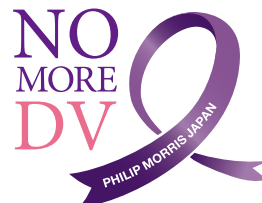
当社の社会貢献活動を支えているのは、意識が高く、意志の強い従業員一人ひとりです。私たちは、地域社会へ貢献することが、仕事において高い能力を発揮することと同じと考え、従業員がそれぞれの地域社会で時間とエネルギーを割いて、存分に活動することができる社会貢献の機会を積極的に設けています。会社が従業員とともに取り組んでこそ、PMJにしかできない社会貢献を実現できると考えています。



従業員が業務の一日を奉仕活動に費やす「PMJボランティア・デー」を設け、全国の児童養護施設などで活動しています。

子ども虐待／ドメスティック・バイオレンス(DV)への取り組み

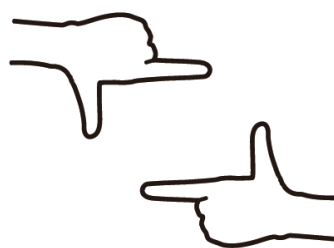
当社は、子ども虐待・DVなど家庭内における暴力の問題を日本社会における重大な社会問題の一つと考え、こうした問題に日々取り組んでいるNPOなどの組織・団体への支援・協力を通じて、「啓発・未然防止」「早期発見・早期対応」、そして「被害者の自立支援」に至るまで総合的に取り組んでいます。



	子ども虐待	DV
啓発・未然防止	● オレンジリボン運動	● DVシンポジウム
早期発見・早期対応	● 子どもの虐待防止ホットライン	● DV電話相談 「全国共通DVホットライン」
自立支援	● PMJホープチェスト (自立のための資金援助) ● ライフスキルトレーニング (自立のための生活スキル) ● CAPプログラム (心のケア・自尊心向上) ● PMJフォスターファミリー奨学助成 (里親家庭への奨学金)	● DV被害者サポートPMJ基金 ● DV被害者 同行支援

地域とともに

私たちが最優先に考えているのは、従業員が住み、働く地域へ価値ある支援を行うことです。当社では、美しい日本を保ち、さらに美しくしていこうというメッセージを込めた“keep Japan beautiful”というテーマに沿って、環境美化・保全活動に取り組んできました。また、災害時には、被災地で必要とされている迅速・早急な初期対応はもとより、地域の復興段階に応じた長期的な支援活動を実施しています。これまでも、そしてこれからも、地域社会に貢献するべく、活動を継続していきます。



いしのまきカフェ「」

被災地を長期的に支援する取り組みとして、宮城県石巻市の高校生が運営するカフェの立ち上げを支援。



宮城県および岩手県にて従業員参加型の被災地支援ボランティア活動を継続的に実施しています。

Corporate Data

会社概要 (2017年2月現在)

フィリップ モリス ジャパン合同会社

Philip Morris Japan Limited

設立	1985年
代表者	シェリー・ゴー (Shea Lih Goh) 社長
従業員	約1,950名
ブランド	IQOS、マールボロ (Marlboro)、ラーク (Lark)、パーラメント (Parliament)、バージニア・エス (Virginia S.)
国内たばこ市場シェア	27.1% (2016年度)

フィリップ モリス ジャパン合同会社は、フィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社で、日本で販売されるフィリップ モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。

フィリップ モリス インターナショナル

Philip Morris International Inc. (PMI)

設立	1847年 英国にてフィリップ モリス社として設立
本社所在地	米国・ニューヨーク市
統括本部	スイス・ローザンヌ
代表者	アンドレ・カランザポラス (André Calantzopoulos) CEO
従業員	80,000名以上
ビジネスを展開しているマーケット	180カ国以上 (50製造工場)

フィリップ モリス インターナショナルは、世界の紙巻たばこ上位15ブランドのうち、全世界で売上No.1を誇るマールボロを含む6つのブランドを有しており、世界の約180カ国で製品を販売しています。

数字で見るフィリップ モリス ジャパン（2016年）

従業員の女性比率

40% (本社)

有休取得率

58%

管理職の女性比率

24%

ボランティア参加人数

のべ1,718名

従業員の国籍数

22カ国

支援や協力をした団体数

のべ585団体

フィリップ モリス ジャパン合同会社

〒100-6190

東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー22階

TEL 03-3509-7200

URL <http://www.pmjl.jp>



PHILIP MORRIS JAPAN